

令和元年度後発医薬品使用促進計画

(別添2 様式例)

策定年月日 令和元年8月30日

自治体名 (福祉事務所名)	茨城県 (県南福祉事務所)	後発医薬品の数量シェア (平成30年6月審査分)	全国の使用割合	国が定める目標値 <sup>(※)</sup> (A)	管内実績 (B)	目標との差 (A-B)
			77.6%	80.0%	78.0%	2.0%
<p>&lt;現在の状況&gt;</p> <p>1. 先発医薬品を調剤した事情</p> <p>①薬局の在庫によるもの:41.46%</p> <p>②患者都合(理由の記載なし):41.46%</p> <p>③その他(後発医薬品がない, 医師の指示によるもの):17.07%</p> <p>2. 関係機関への説明の状況</p> <p>医療機関への説明は行っていない。</p>			<p>&lt;対応方針&gt;</p> <p>-----</p> <p>被保護者への説明</p> <p>○ケースワーカーの訪問の際に後発医薬品について, 口頭やパンフレットを使用して使用の促進を図っている。</p> <p>○服薬指導が必要な者についてリストを作成</p> <p>-----</p> <p>関係機関への説明</p> <p>○生活保護制度における原則服用について説明し, 協力を得る</p> <p>○医療機関(医師)に対し, 病状調査等の機会に処方協力を依頼。</p> <p>-----</p> <p>薬局における備蓄について</p> <p>○特段なし</p> <p>-----</p> <p>その他</p> <p>特段なし</p>			
<p>&lt;使用促進が進んでいない原因&gt;</p> <p>○使用促進の指導効果が上がってきているところである。</p> <p>○関係機関への説明が不十分</p> <p>○薬局における備蓄の問題が大きい。</p>			<p>&lt;備考&gt;</p> <p>レセプトシステムで抽出した後発医薬品使用率のデータによれば, 令和元年6月審査分においては, 当所の使用率は85.4%となっている。</p>			

※ 毎年度 80%達成を目指す。